

第1回糸魚川市ガス上下水道事業官民連携あり方検討委員会

## 当市における官民連携事業の必要性

# 1 市職員・体制の整理

## 【体制の確保・技術継承体制】

・昨今の職員確保が困難な状況を考えると、50代の職員が退職した後の職員・体制確保に課題がある。

## 【資格保有者の確保】

・ガス事業については、保安の観点から、資格保有者を確保しておく必要がある。

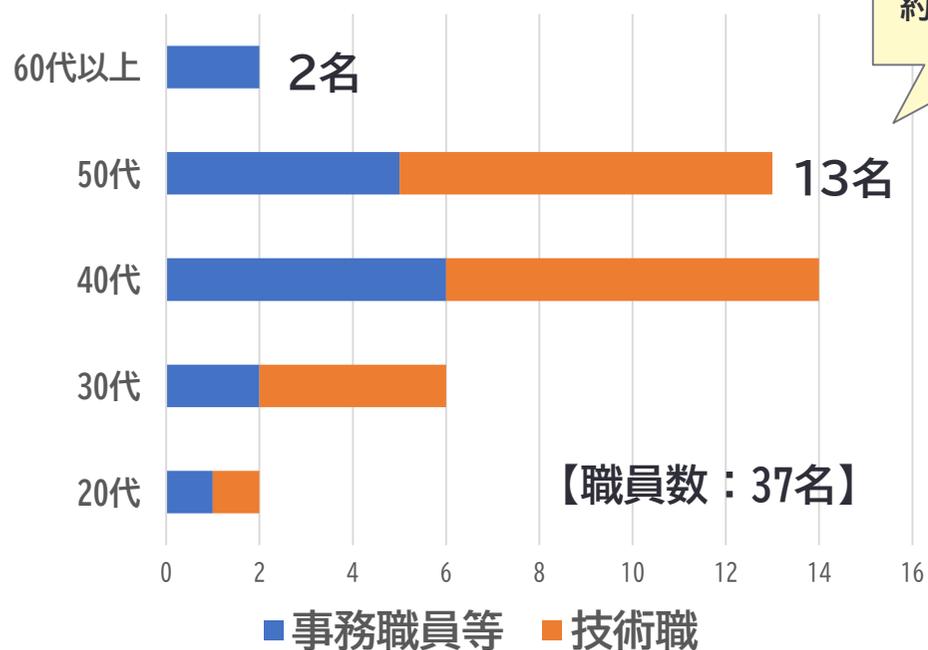
## 【4事業一体性の維持】

・現在、事業一体でのサービス提供や工事発注等を行っており、効率的に運営が行えていることから、継続することが望ましい。

## 【点検・窓口業務の民間活用】

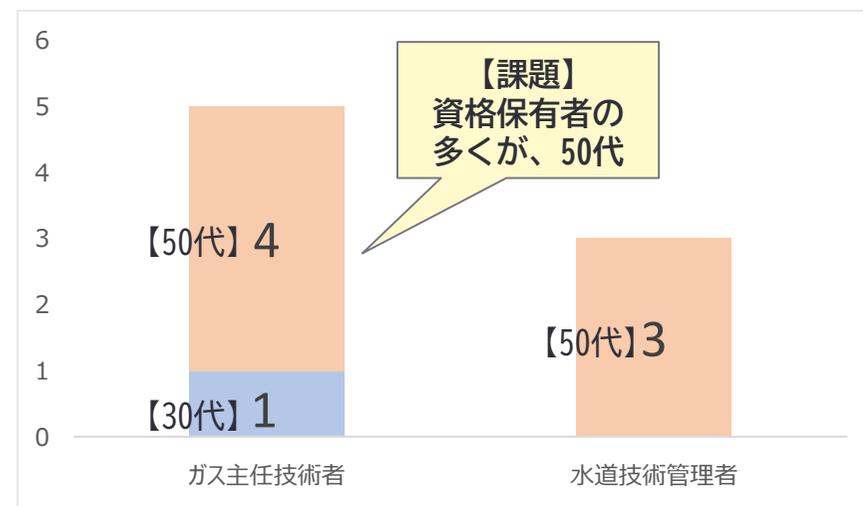
・点検・窓口業務など様々な業務を市職員にて実施しており、民間委託による効率化、一体化の余地がある。

<職員年齢構成>



【課題】  
約半数が50代以上  
(15/37)

<資格保有者数（年代別）>



【課題】  
資格保有者の  
多くが、50代

## 2 施設状況の整理

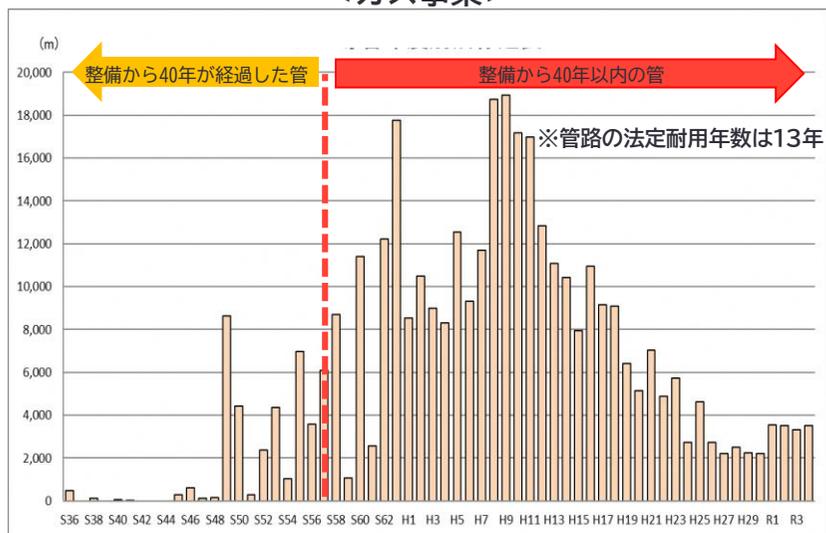


### 【管路工事の実施体制維持・強化】

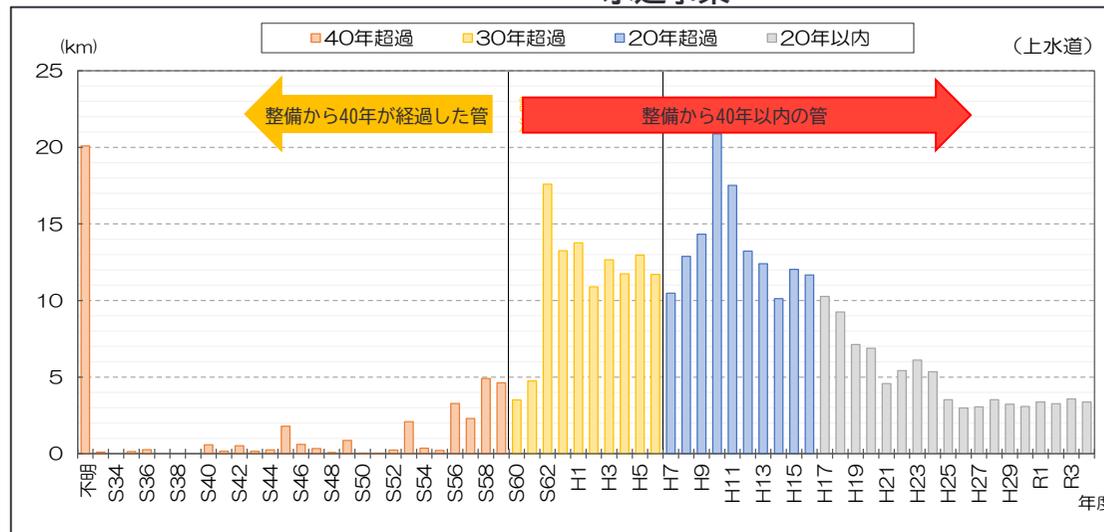
今後、過去に整備してきた管路の経年化が進み、法定耐用年数を超える管路が多くなることから、適切な管理や更新を行う体制の維持・強化が必要である。

年度別管路延長

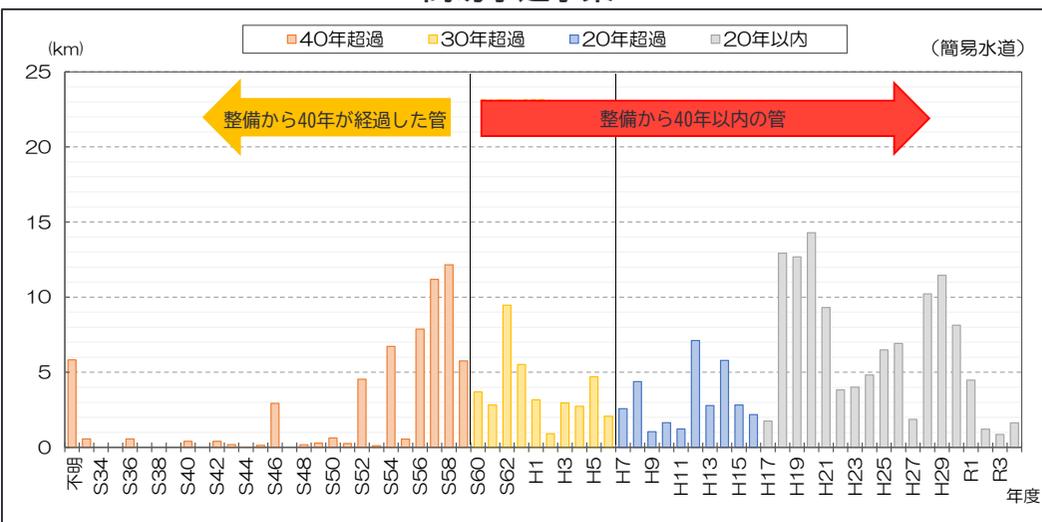
<ガス事業>



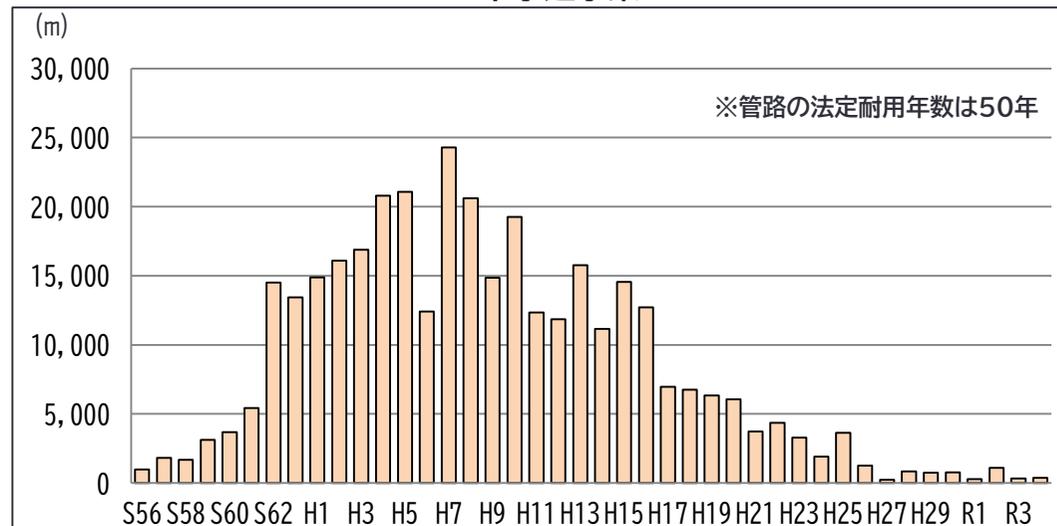
<水道事業>



<簡易水道事業>



<下水道事業>



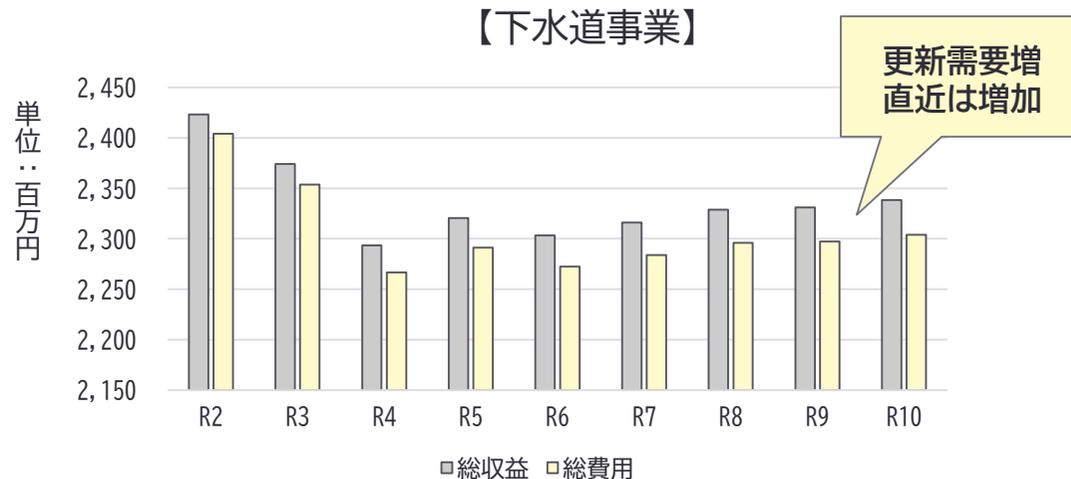
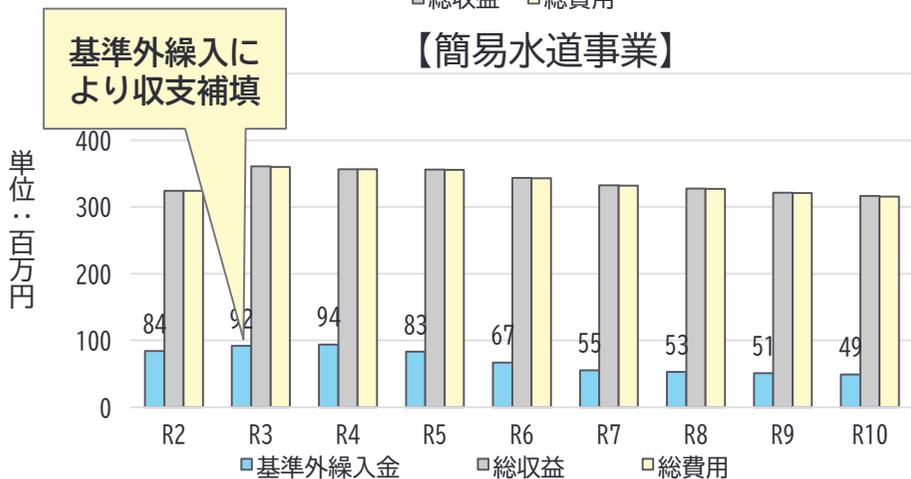
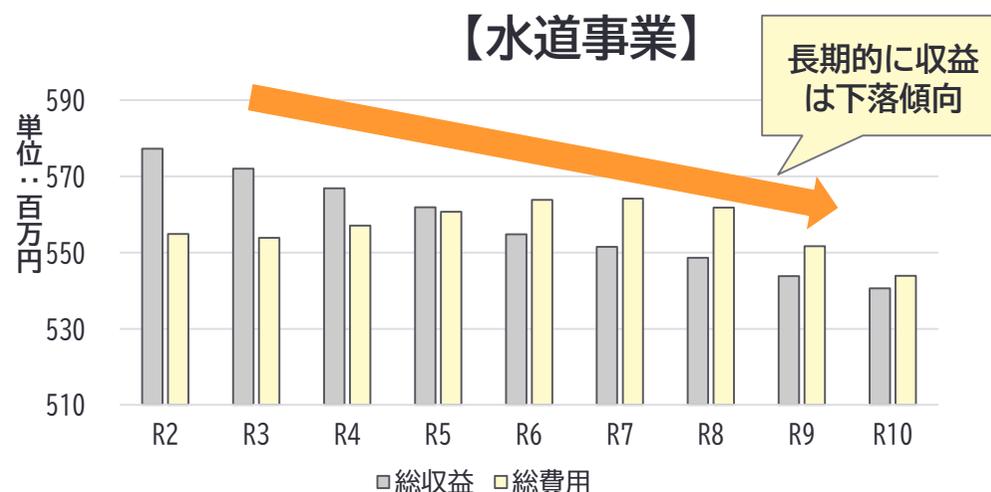
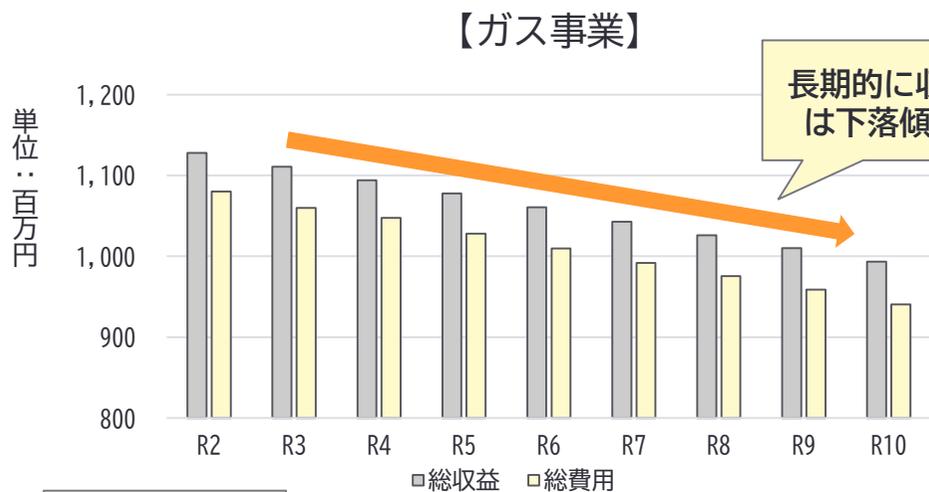
### 3 収益状況の整理



#### 【事業費の縮減効果】

- ・ 今後も人口減少に伴う料金収入の減少が見込まれることから、料金改定及び費用縮減が求められる。
- ・ 簡易水道事業においては、一般会計からの繰入金に頼らざる得ない経営状態である。

総収益・総費用の推移(R2~R10)





## 4 課題の整理

4事業ともに技術継承について課題を有しており、特に保安面の体制維持・強化は喫緊の課題である。

	4事業の現状整理	官民連携によって解決すべき課題
技術者の確保 技術継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術職員の高齢化(半数以上が50代)</li> <li>・施設管理職員の不足(管理施設に対する職員減)</li> <li>・ガス主任技術者不足により、ガス事業継続が困難(50代未満の資格取得者が1名のみ)</li> <li>・保安体制の弱体化、災害時の対応力の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術職員の確保、技術継承の持続</li> <li>・施設の管理体制強化</li> <li>・ガス事業の継続</li> <li>・保安体制、災害時対応力の強化</li> </ul>
長期的な 収益減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、節水器具等による収入の減少</li> <li>・簡易水道事業、下水道事業は、今後も一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な事業運営</li> </ul>
管路・施設の 維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化の進行に伴う、維持管理費用の増加</li> <li>・施設更新に伴う長期的な工事更新需要、監督業務の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の適切な管理体制の維持・強化</li> <li>・施設更新に必要な技術職員体制の維持、強化</li> </ul>
4事業一体 でのサービス 提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス、水道、簡易水道、下水道一体施工によるコスト縮減</li> <li>・需要家の利便性向上が図れない</li> <li>・ノウハウ不足による営業活動の停滞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4事業一体施工による効率化の維持</li> <li>・窓口業務、料金収納の効率化とサービス向上</li> <li>・営業体制の強化</li> </ul>